

【 脳定位的放射線療法 】

脳定位放射線療法は、肺がん、乳がん、胃がんの脳転移に対して、多方向から放射線を入射して、病巣を「ねらいうち」する治療法です。定位的放射線治療の場合には、周囲の正常組織への影響が少なくできるため、通常の放射線照射法に比べて1回に照射できる放射線量が大きくても安全であり、放射線治療に要する期間が短縮できるメリットがあります。当院では年間約15例の患者さんに治療を行い、患者さんはこのような入院生活を送ります。

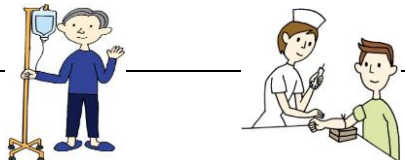




脳定位的放射線療法を受ける患者さんへ

患者さん用

お名前：

責任担当医：

担当看護師：

項目	入院当日		退院日
	入院時	治療前	
達成目標	・不安なく検査に臨める		・身体的に問題なく退院することが出来る
治療 ・薬剤 (点滴・内服) ・処置	・服薬中のお薬は、医師に確認してから改めて、内服を継続できるかお伝えします。	・検査前に点滴を開始します。 ・病室を出る前に検温します。 ・頭部4箇所へヘッドリングを装着して固定します。局所麻酔を行います。	・帰室後・1時間後・3時間後に検温します。 ・点滴終了時、点滴の針を抜きます。
検査	・外来にて、採血・胸部レントゲン・心電図が行われていない方は入院後行います。		
活動・安静度	・活動に制限はありません。	・検査室へは、車椅子または歩行での移動となります。	・治療が終了したら、車椅子でお迎えに参ります。 
食事		・昼食後より、飲水・食事はとれません。	・治療後より、飲水・食事をとることが出来ます。
清潔	・入浴・シャワー浴が出来ます。	・入浴・シャワー浴は出来ません。	・入浴・シャワー浴が出来ます。
排泄		・検査の前には、必ず御手洗を済ませてください。	・治療後の初めての歩行には、看護師が付き添います。
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・医師が検査について説明します。その際に、治療同意書をお渡しします。記載をしたら、看護師にお渡し下さい。	・検査に行く前に、貴金属類や義歯などを外してください。検査中は、検査室の看護師が対応いたしますので、苦痛があったり不安な事がある時は、遠慮無くお申し出下さい。	・次回外来日について説明します。 

ご質問やご不明な点がございましたら、担当医師または担当看護師にお伝え下さい。予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承下さい。
東邦大学医療センター大森病院
作成日：平成28年11月11日